

全国高校生体験活動顕彰制度

地域探究プログラム

趣旨 高校生が地域づくりや地域の課題解決などに関する体験活動をととして、「探究のプロセス」を学び、思考力・判断力・表現力等を育成し、新たな価値を創造する人材の育成に資するとともに、学びに向かう力を培う機会とする。

企画運営のポイント

1. 地域の起業家や有識者、行政関係者を講師としたフィールドワークを通じて、地域の課題の発見、整理と検討、発表という一連のプロセスを1泊2日で学習できるようにした（オリエンテーション合宿・宿泊実施）。
2. 宿泊実施と学校実施の両事業でできるだけ同じ講師に協力を依頼したことで、その講師が「伴走者」となり、生徒の探究活動を支え、実現・実行の観点をより重視した探究活動となった（オリエンテーション合宿・学校実施）。

期日 令和7年4月15日（火）～令和7年12月15日（月）

対象 北海道日高高等学校 1年生

人数・内容

オリエンテーション合宿				
日 付	内 容	場 所	参加者数	
4/15(火) 4/16(水) 【宿泊】	ガイダンス、ワークショップ・講話等「地域づくりの理解と課題設定の基礎」、講義・演習①「地域づくりと探究」、発表①	国立日高青少年自然の家 日高町内（フィールドワーク）	15名	
4/25(金)	実践活動ガイダンス	北海道日高高等学校	15名	
5/9(金)、9/29(月) 10/20(月)～12/10(水)	講義・演習②「地域課題の探究」	北海道日高高等学校	15名	
12/15(月)	発表②	北海道日高高等学校	13名	



参加者の声

- ・日高のまちを一周して、説明を担当してくださった人の話を聞いて、日高の町を知ることができた。
- ・一人一人がそれぞれ意見を出し合って、お互いの意見を尊重し合いながら、話し合うことができていた。
- ・楽しく学べることができました。「話す」「聞く」「試す」が特に学びになりました。
- ・探究が何かを知り、いろいろと実践することができた。

【成果】

- ・活動前に「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ」という探究のプロセスについて確認することで、実践を通してプロセスの理解につなげることができた。
- ・演習の話し合いの場面では、地域の歴史を知る方に参加いただくことで、フィールドワークだけでは学ぶことができなかった分野にも視野を広げることができ、新たな課題の探究へとつなげることができた。
- ・前年度の反省点として、宿泊実施時の話し合いの内容を本格的な探究課題につなげることが難しかったという点があった。そのため、今年度は事前に担当者と打ち合わせを行い、目的や内容・進め方を再検討することで、探究の課題設定を宿泊実施時に行うことができた。

【課題】

- ・宿泊プログラムでは、入学間もない段階での話し合い活動だったため、一部の生徒は、積極的に意見を出すことに戸惑う様子が見られた。全体を進めるファシリテーターの役割がとても重要であった。
- ・講義・演習①の「整理・分析」の場面では、持っている知識の中での分析にとどまってしまう、深めることが難しかった。専門家の話やデジタル機器を活用し、より専門的な情報を取り入れることが必要だと考える。